

進路だより ～ 中学生のみなさんへ ～

No. 1 2015.

みなさん、こんにちは。進路指導部です。 昨年までは高校生向けの内容が中心でしたが、今年中学生のみなさんに向けた内容を発信していきますので、ぜひ読んでください。

◆中間試験は受けたあとが大切です

1年生は初めての定期考査でしたが、思うような準備ができましたか？ 2年生・3年生のみなさんは昨年までの反省を活かしましたか？ 定期考査は受けるまでの準備も大切ですが、受けた後がもっと大切です。定期考査は授業で学んだことをどれくらい理解しているかを確認するものでもあります。間違えたものや解けなかったものをどれだけ早い段階で解決するかが、これからの学習に大きく影響していきます。ぜひ、この週末を利用して解き直しや復習をしましょう。

★先輩たちの実践例★ 定期試験の活用法

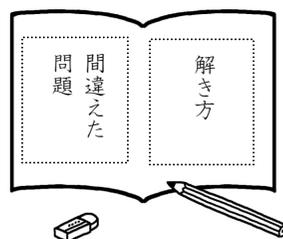
パターン1 定期試験をファイルやノートにストックしている

テストが終わったら、どこかにいってしまう…なんてことはありませんか？

科目ごとにファイルやノートを分けて管理し、夏休みなどを利用して復習している人もいます。

パターン2 間違えたり解けなかったりした問題をためたノートを作成している

間違えたり解けなかったりした問題は、解説を聞いてわかったつもりになっても、時間がたつと、またつまずく可能性が大きいものです。テストを復習する際に、間違えた問題と解き方をノートにまとめて、「科目ごとの不得意まとめノート」を作成している人もいます。機会があるごとに復習することで苦手分野を減らしていくことができるのでオススメです。



◆学力テストの結果が返却されます

4月に受けた「ベネッセ中学学力推移」の結果がまもなく返却されます。定期試験同様、**必ずもう一度復習**するようにしましょう。成績票を見る際に、得点や全国偏差値だけでなく、どの分野ができていなかったか、マークミスや読み取れないマークをしていないかなども確認しましょう。

★「GTZ (学力到達ゾーン)」も確認！

G (学力) T (到達) Z (ゾーン) は、各ゾーンの大学合格60%を示す目安で、学力ごとにS→A→B→C→Dの

順で表われます。大学進学を希望する場合は、Bゾーン以上を目指していきましょう。

G T Z ごときの大学一覧は、成績票と一緒に渡されますので、ぜひ確認してください。

◆MARCH（マーチ）合格のカギは？

MARCHという言葉聞いたことはありますか？ これは、都内にある人気私立大学の頭文字をとって呼ばれているものです。おそらく、多くの人が一度は名前を聞いたことのある大学だと思います。

M：明治大学 A：青山学院大学 R：立教大学 C：中央大学 H：法政大学

これらMARCH以上の大学に合格するための大きなカギとなるのが「英語」です。MARCH以上の大学へ進学したい人は高校入学までに英語を得意科目にすることを目指していきましょう。なんとなく英語ができればいい、ということではなく、「国際社会で活躍できるくらい」とすることが大切です。

★MARCH合格者の特徴★

- ① 学習習慣 毎日ほぼ決まった時間に勉強する。
- ② 勉強の仕方 宿題以外にも自ら復習する姿勢がある。
- ③ テストの復習 どの教科も、定期試験後に間違えた「理由」を確認して理解している。
- ④ 英語の学力 「将来国際社会で活躍できるくらい」という意識で学習し、得意科目にしている。

◆変わる大学入試

1年生のみなさんが大学受験を迎えるときから、「大学入試センター試験」がなくなり、大学入試が大きく変化します。また、加速化する「グローバル化」に対応しようと、各大学での学びも変化しつつあります。そして、それに対応できる学生を求めめるために、大学入試も変わってきているのです。

★なぜ、グローバル化がこんなに急がれるの？

いま、世界各国で、自国の成長を引っ張る人材を育成しようと教育の充実を図っているのが、日本でも、大学の力を高めようとする体制が強化されています。日本のトップ大学である東京大学も、世界ランキングにおいては23位、京都大学は59位という状況です。今までの日本の大学は日本語で授業が行われることが多いため、海外から力のある学生がなかなか集まらないのが現状でした。また、研究成果をまとめた論文も日本語で書かれたものが多いため、海外の研究者からの注目度も高まりませんでした。だからこそ大学の学びにおいて英語を取り入れる動きが大きくなっています。もちろん、英語力だけでなく、英語を使って表現する内容を充実させる力も大切です！

たとえば、6年生が大学へ入学する平成28年と、3年生のみなさんが大学に入学する平成31年の外国語による授業科目数（各大学の目標値）を比べると…

	平成28年	平成31年	平成35年
明治	550科目	700科目	880科目
立教	440科目	700科目	1400科目
法政	654科目	709科目	765科目

この数年で外国語による授業を増やそうとしているのがわかります

【外部検定試験を利用した大学入試の増加】

平成 27 年度入試から上智大学や立教大学で採用された TEAP 入試が話題になりましたが、これから GTEC
CBT や TOEFL iBT などのように 4 技能を問う検定試験を採用する大学入試が増えていく方向です。